



2024年  
4月

中国四国農政局  
広島県拠点

## 伝統野菜、「観音(かんおん)ねぎ」

～JAと一体となって周年安定出荷へ注力～

広島市西区観音地区発祥の青ねぎ「観音ねぎ」は、明治時代初期に栽培が始まった伝統野菜で、食感が柔らかく甘味が強いことから、広島名物のお好み焼や汁なし担々麺の食材として重宝されています。

春を迎えて出荷も活発化する中、観音ねぎ出荷組合に所属するねぎ農家の4代目である竹内照浩さん御一家（父の略（もとむ）さん、母の孝子さん、息子の和也さん）にお話を伺いました。

### 三世代の絆で伝統野菜を継承

照浩さんは、「毎日、圃場を観察し、それを繰り返すことでねぎが何を望んでいるか分かるようになると和也に言っています。」

照浩さんの父である略さんは、「一年を通して、種まき・定植・収穫・選別・出荷を行い、選別し振り落としたものは、熟成後、稲わらといっしょに肥料として圃場へ戻しています。」

母の孝子さんは、「孫と一緒に作業をすることが楽しみのひとつです。」と、代々続けてきたねぎへの向き合い方や、和也さんへの期待と熱い思いを口にされました。

和也さんは、「祖父には農機具、祖母には除草、父にはねぎの全体的なことを教えてもらっています。」と、家族の支えが励みになっていることを話してくださいました。

家族総出で凜とした空気が漂う中での選別作業を行っている姿に、三世代の強い絆を感じました。



略さん、瀬川さん、孝子さん、和也さん、照浩さん

### JA広島市の支援

観音ねぎ出荷組合事務局（JA広島市古江支店）の瀬川晴雄 専門営農指導員によれば、「現在、観音ねぎの認知度向上のため「広島県産応援登録制度※」への申請と5月下旬に開かれる審査会で発表を予定。また、農家の皆さんと適正防除の取組と栽培サイクルの増加を模索中。」として、JAは同出荷組合・生産者と一体となって周年安定出荷へ注力しています。

※広島県産農林水産物等の販路拡大等に取り組む生産者を支援するため、登録された農林水産物の商談会の開催や県内外での販路拡大機会の提供等を行う広島県が実施する制度。



出荷を待つ瑞々しい「観音ねぎ」

編集：中国四国農政局 広島県拠点

〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30

TEL (082)228-9676(内線306)

<農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。<https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>